

1.

「鐵」の字源を調べて

シルクロードの草原の道を駆け抜けた鐵

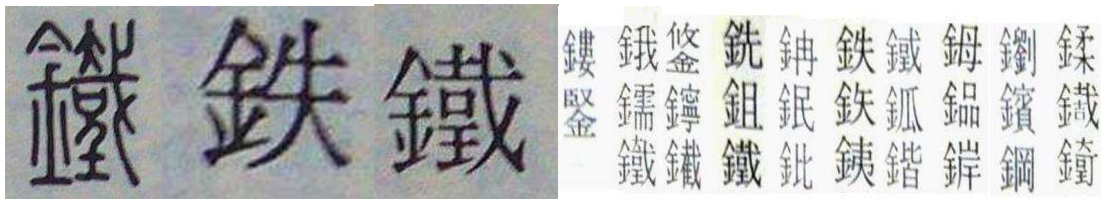


と



鉄「鐵・テツ」と馬「驥・テツ」

hotan00.htm 2006. 1. 10. by Mutsu Nakanishi



「鐵は五金の王なり」

「鉄」の字の「字源」を知っていますか・・・

「鉄は五金の王なり」

「鉄」の字源は鐵の字の旁に「王」があり、誰に聞くともなくこれが字源と思っていましたが、どうも 違うらしい。「鉄は五金の王なり」は日本での「鐵」の字の解釈だという。

「鐵」の字源を図書館へ行って調べたり、聞いたりするのですが、どうも良くわからない。

4世紀には古墳から「砂鉄」が出土した例があり、「砂鉄」を「鉄」と認識しながら製鉄の始まるのはずっと後の5世紀以後。

日本古来の「たたら製鉄」の主原料の「砂鉄」が何時から「鐵」と認識されたのか・・・

また、中国では「砂鉄」を製鉄原料として認識しなかったのか・・・

不思議に思えて 調べだしたのが発端。

鉄を吸い付ける磁石 これが一番鉄を見分けるのに良い手段と思えて調べると中国では古くから「磁石」があり、鉄を吸い付けることが知られていた。しかし、日本で実際に磁石が採取されるのは奈良・平安時代であるという。もっとも 「磁石」の言葉はずっと以前に中国から伝えられていたという・

また、中国には 数千年前には「指南」の語源となった磁石を取り付けた「指南車」が軍団の先頭を走ったという。

そんな中で、「鉄」の字源にも触れ、「五金の王なり」がどうも字源ではないことを知りました。

鉄器文明のスタートは韻鉄の利用が始まりで、その後 紀元前12世紀 アジアの西端小アジアでヒツタイト人が鉄器の生産加工技術を発明し、そこから世界へ広まったといわれる。

アジア大陸の西端から、遠く中国・朝鮮半島とアジア大陸を横断して日本に伝わった。

シルクロードがその通商路。シルクロード通って 中国に伝わり、紀元前5,6世紀頃には中国でも鉄器生産が行われていたという。

漢和辞典などを調べると 「鐵」の字の右側の旁「𠄎」は「テツ」の「音」をあらわす「音符」だという

また、漢和辞典の中で「馬」篇に旁「載」で「驥テツ」と読み「赤黒色をした馬」をさす「驥」の字にもありました。

「驥」の字の旁「載」は「赤黒色」をあらわすという。

これは 西域・シルクロードの草原を駆け巡った「天馬」を指すのでは・・・・・・・・

「鐵・テツ」と「驥・テツ」のルーツが相互に関係しているとすれば

「鐵」は「赤黒い色をした金属」と読み、「驥 天馬は馬の王なり」との解釈も出来る。

そんな勝手な解釈を自分なりに試みたりもしているのですが、さあ どうでしょうか・・・・・・・・

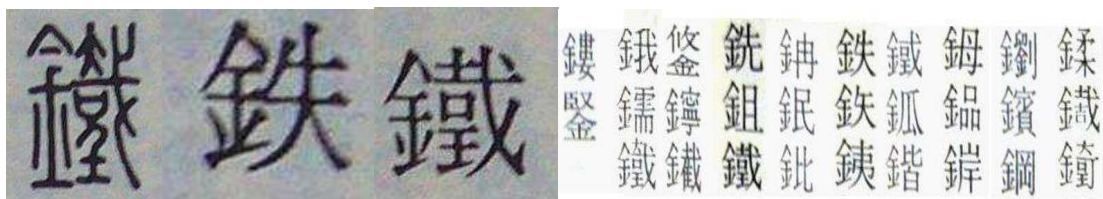
漢和辞典などで調べた字源は次のようである。

「鐵」の字を解くと「金+戔+呈」となり、戔は「切る」という意味があり、呈には「たいら」の意味があり、**「真っ直ぐに物を切り落とす鋭利な金属」**を表しているとする説がもっとも有力である。

また、江戸時代の思想家三浦梅園は**「金とは五金（金、銀、銅、鉛、鉄）の総称なり、五金の内にては鉄を至宝とす」**と記していて、これがどうも**「鐵は五金の王なり」**のルーツらしい。

新字体「鉄」の字も「失シツ」の転音が赤黒色の語原「漆 シツ」の音に似ていることからきていると漢和辞典に記載されている。「漆 ウルシ」からきているとすると「漆 生ウルシ」の色は黒茶色で「黒がね」と重なってくる。もっとも**金属「鉄」**を表す字は古代から数々用いられており、20 数字もある。

日本でも 古代から数々の字が用いられ、数々の変遷を経て現代の字になったという。



金属「鉄」にあてられた漢字の数々

したがって、**金属「鉄」**の字源を、これだけ多くの字が使われていたとなると「鐵」の字源も一筋縄では行き当たらないのかも知れない。

『「鐵」が中央アジアの砂漠を馬「馱」に乗って、西から東に駆け抜け、中国に伝わった』とイメージを膨らませると楽しくて、私には最もピンと来る。

中央アジアの砂漠を馬に乗って、「鐵」がシルクロードの草原を西から東に駆け抜けた鉄「鐵・テツ」の字とともに馬「馱・テツ」の字の存在がそれを示している

そんなことを考えているときに NHK「新シルクロード 草原の道」が放送され、シルクロードの草原を駆け巡る赤黒色の騎馬を見ました。そして この道筋に残る古い仏像壁画には「鐵線描」という鉄の痕跡が残っていて、これも日本にまで伝わったという。

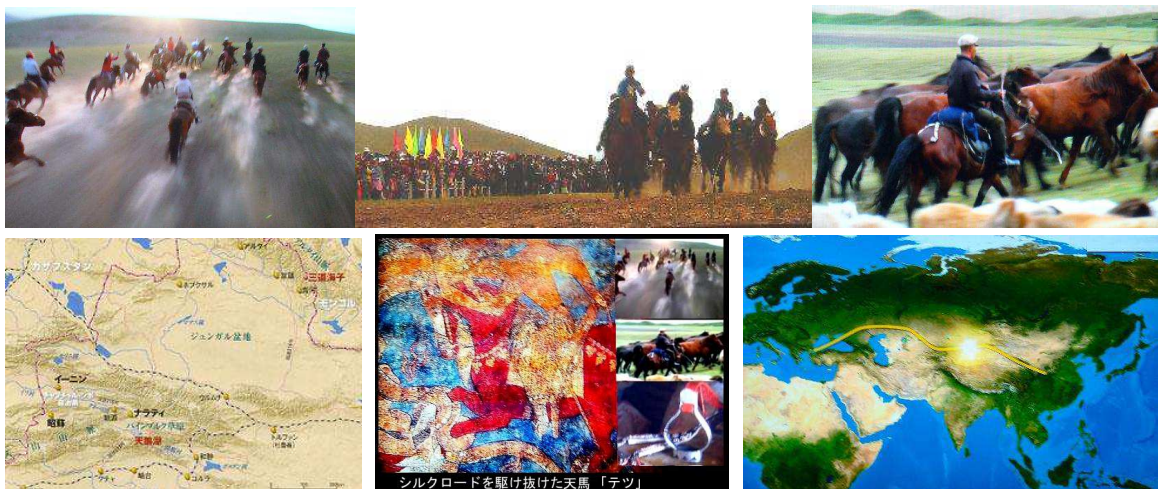
鐵の字源に描いた私のイメージにぴったりでビックリである。

アジアの西端小アジアで紀元前数千年前にヒッタイト人の中で生まれ、遠くアジア大陸→中国・朝鮮半島を通じて 日本に伝わった。

日本で製鉄が始まるのが、5 世紀後半。この頃 アジア大陸では 草原の民「突厥」(カザフ族のルーツ)が世界帝国を打ち建てた。彼らが発明した鉄の「あぶみ」をつけ、鉄の武器を持った騎馬軍団がシルクロードを東へ東へと駆け抜けたという。

また、中国で「天馬」「赤兎馬」と呼ばれ、珍重された赤黒色の小さな馬も中央アジアの草原からもたらされたものである。

シルクロードの草原を馬とともに鉄が駆け抜け、シルクロードの国々中国 朝鮮半島 そして 日本の国々に新しい文明と文化をもたらした「鐵」まさに 「鐵は五金の王」なりである。



豊富な鉄を武器に草原を駆け抜けた騎馬集団「突厥」

NHK 新シルクロード 草原の道より



シルクロードの仏教国 ホウタンで生まれた「鐵線描」で描かれた仏教壁画

NHK 新シルクロード 草原の道より

アジアの西端小アジアで紀元前数千年前にヒッタイト人の中で生まれ、遠くアジア大陸→中国・朝鮮半島を経て 日本に伝わった。

日本で製鉄が始まるのが、5世紀後半。この頃 アジア大陸では 草原の民「突厥」（カザフ族のルーツ）が世界帝国を打ち建てた。彼らが発明した鉄の「あぶみ」をつけ、鉄の武器を持った騎馬軍団がシルクロードを東へ東へと駆け抜けたという。

また、中国で「天馬」「赤兎馬」と呼ばれ、珍重された赤黒色の小さな馬 それも中央アジアの草原からもたらされたものである。

シルクロードの草原を馬とともに「鉄」が駆け抜け、シルクロードの国々中国 朝鮮半島 そして 日本の国々に新しい文明と文化をもたらした「鉄」

そして、シルクロードに残る数々の壁画に描かれた仏像の顔は「鉄線描」と呼ばれる「針金を思わせる赤黒色の太い線」で縁取られ、ここにもシルクロードを駆け抜けた「鐵」の痕跡が残っている。

「鉄線描」はシルクロード天山山脈の麓の仏教国ホータンで生まれ、中国 棟。隋の長安で花咲き、法隆寺の壁画、そして現代の日本画の主要技法として脈々と受け継がれてきたという。

源氏物語絵巻を彩る「引き目 かぎ鼻」の技法のルーツもこれか・・・

「シルクロード」は「鉄の道」。「鐵」の痕跡が騎馬民族集団の馬や古い仏像壁画などに点々と残っている。ほんの気まぐれで、「鐵」の字の「ルーツ」を調べだしたちょうどそんな折、シルクロードの草原を駆け抜ける赤黒色の馬「馱」にまたがり、疾駆する騎馬軍団が映し出された。

(NHK 特集 新シルクロード全集 草原の道)

「シルクロードを馬に乗って駆けた鉄の姿」

そんなシルクロードの痕跡を今に残しているのが「鐵」「馱」の文字ではないか・・・

これが「鐵」の字のルーツか・・・

まさに「鉄は五金の王なり」と勝手にイメージしています。

でも、鐵を語るときには いつも見え隠れする「勝ち組と負け組」 体制と反体制の葛藤

「五金の王 鐵」の言葉の裏に「鬼伝説」として「鬼」にされてきた「製鉄の民」の姿を忘れてはならないが・・・

国を築き、文化を作って世界を動かしてきた「鐵」

これからも、鐵が持つエネルギーが武器ではなく平和・文化をさらにクリエイティブしてゆくことを願う。

2006. 1. 15. 記

【参 考】

1. 「鐵」におけるミスマッチ —鐵を活かす— 豊田政男

鐵の字源をこね回している時に、ずっと以前一緒に仕事をしたこともある同じ材料屋 阪大豊田政男氏のコラム「「鐵」におけるミスマッチ」の中で「鐵を活かす」と題する「鐵」の字源に関する一文をインターネットで見つけました。

10年も前の一文ですが「鉄と鋼」に対する仲間の心根が垣間見える一文として紹介。

「鐵」におけるミスマッチ —鐵を活かす— 豊田政男（平成5年3月8日）

<http://www7.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/member/Toyoda/essay/MisMatch/MisMatch.html#0900>

2. 「鉄」の字源

社団法人 日本鉄鋼連盟 <http://www.jisf.or.jp/knowledge/mini/> より

「鉄」という字の正字は「鐵」で、これを解くと「金+戠+呈」となる。

「戠」は「切る」という意味があり、「真っ直ぐに物を切り落とす鋭利な金属」を表している。

また、別に「鐵」を「金の王なる戠」と解く説がある。

江戸時代の思想家三浦梅園は、「金とは五金（金、銀、銅、鉛、鉄）の総称なり、五金の内にては鉄を至宝とす。

如何となれば鉄その価、廉にして、その用広し。

民生一日も無くんば有るべからず」と記している。

現在最も広範に利用されている金属であることを考えると、正鵠を射た説ともいえる。

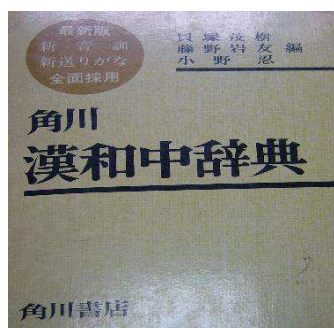
「鉄鋼の実際知識」（発行：東洋経済新報社、編者：鋼材倶楽部）より抜粋。

3. 漢和中辞典ほかによる「鉄」の字源

「鐵」の旁「戠」は音のテツを表し、(きる)と(たいら)の意味の呈の合わさったもので、まっすぐに物を切り落とす鋭利な金属を表す(藤堂他偏, 漢字源)。

また、旁「戠」は赤黒色の意味の語源(漆シツ)からきているともいう

(貝塚他偏, 漢和中辞典). . .



4. NHK BS ハイビジョン特集 新シルクロード

新シルクロード全集 決定版 第3集 草原の道風の民